

# 総合診療科とは？

「それは専門外なので診られません」と言わない科



患者を多角的に診る



家族・生活背景まで診る



地域全体を診る

一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会ホームページ <http://sogoshinryo.jp/>

高齢化社会の進行に伴い、複数の慢性疾患（不整脈、狭心症、肺気腫、慢性腎臓病など）を同時に抱える患者さんが増加しています。さらには、老々介護や認知症介護の問題など、各家庭の抱える家族関係や生活背景が複雑化してきており、患者さんの健康問題にも深く関わるケースが増えています。

このような患者さんにおいては、従来のように複数の臓器別専門科が個々の疾患に対して診察や治療を行うのではなく、総合的な診療能力を有するひとりの医師が総合的に診察や介入を行うほうが患者の利益になる、という考えのもと2018年に専門科として新たに設けられたのが『総合診療科』です。

「総合診療科」の専門性として、以下のような分野を得意としています。

① 健康管理・予防医療

総合診療科の医師は、患者さんの全身の健康状態を総合的に評価し、予防医学や生活指導を含めた健康管理を行います。

② 広い疾患に対する診断・治療

総合診療科の医師は、一般内科を中心に頻度の高い疾患に関しては様々な診療科の知識を学んでおり、総合的な診断と治療を行います。

③ 患者さんとの長期的な関係

総合診療科は、「かかりつけ医」として患者さんとの長期的な関係を築くことを重要視しています。患者さんからのあらゆる健康に関する相談や疑問に対して丁寧に対応します。

④ 地域医療連携の推進

総合診療科は、他の診療科や専門医との連携を重視し、必要に応じて他の診療科や専門医に紹介します。

※詳しくはお問合せください。0138-54-3116

道南勤医協 稜北クリニック